

「山口県観光V字回復プラン(案)」に対し提出された意見とそれに対する県の考え方について

1 意見募集期間 令和3年7月28日（水曜日）から令和3年8月27日（金曜日）まで

2 意見の件数 6人 54件

3 意見の内容と県の考え方

(1) 計画の内容に関すること

No	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	<p>P11の総括において、「インバウンドに関して、国際関係の影響などに起因するリスクマネジメントを考慮した誘客戦略が求められる。」と記載があり、「本県としては、これからは、上記に掲げた総括に留意しながら、観光振興の取組を戦略的に進めていく事が重要と考えています。」との記載もありますが、施策の体系・方向性のP24のインバウンド関係の方向性である「世界に向けた誘客対策の強化と受入環境の充実」の内容に、どのような形でリスクマネジメントを考慮した誘客戦略が反映されているのか不明です。</p>	<p>重点5市場への誘客プロモーションや欧米等の市場開拓を通じて、幅広い市場からの需要を本県に取り込むことで、リスクマネジメントを図ることとしています。</p>
2	<p>令和4年度までを期間とする計画とのことですが、全体的に令和4年度にはコロナが収束しないことが前提となっている印象を持ちました。現実がどうなるかは分かりませんが、可能性として令和4年度でのインバウンド回復はあり得ると思われまます。</p> <p>（コロナが収束しなかったとしても、ワクチン、特効薬の普及により、コロナと共存のまま、世界的に経済回復へ向けて舵を切る可能性は充分想定されると考えます。）</p> <p>V字回復をねらうのであればなおさら、令和4年度にインバウンドが回復する場合の戦略も立てておく必要があると考えまます。</p> <p>コンテンツの充実と表面的なプロモーションだけでは、呼び込む力に欠けることはコロナ前までの経験からも明らかだと思ひ</p>	<p>インバウンド再開に向け、無料公衆無線LANの普及促進や多言語対応など県内を快適に周遊できる受入環境の整備や近隣県や交通事業者との連携による広域での誘客プロモーションに努めるとともに、インバウンドが再開された場合には、観光プロモーターの配置を活かした旅行商品造成促進を図ることとしています。</p>

	<p>ます。山口県として独自性のある新たな戦略を打ち出されることを期待します。</p>	
3	<p>アウトドアスポーツツーリズムやエコツーリズムなどの自然体験を中心とするニューツーリズムは、記載のとおり山口にとって有利なトレンドであると思います。</p> <p>これらのターゲットが県内や近隣県など自家用車で来ることのできる範囲であるうちはよいですが、今後、遠方や海外をターゲットとしたときに最も課題となるのが目的地までの交通アクセスだと思われます。</p> <p>この二次交通不足に対して記載されているのが P26「県内観光地を巡る観光周遊バスの運行など…」という従来型の観光を前提としたもののみになっているのは、戦略的でないと思います。</p> <p>※新しいモビリティの推進という言葉は使用されていますが、具体的にどういうモビリティを想定されているのか見えてきません。</p>	<p>利用者数という点で一定の成果を上げている「観光周遊バス」を例示として記載したものです。</p> <p>※18Pの「●路線バス情報のオープンデータ化を推進」において「新たなモビリティサービスの導入」という言葉を使用していますが、この18Pは、路線バス情報にかかるデータ整備やオープンデータ化を進め、公共交通の利便性向上を図るとともに、Ma a S等の新たなモビリティサービスを推進していくための基盤を整備しようというもので、現時点で具体的なモビリティを想定したものではありません。</p>
4	<p>山口県の優位性として、自然とともに歴史文化資源が豊富であることが挙げられます。観光庁や文化庁においても、社寺や歴史的建造物、文化財等の活用、磨き上げは大きなトピックの一つとなっています。</p> <p>この点についての検討及び計画への記載を希望いたします。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の計画策定や具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
5	<p>コロナを経て重要視されている一つにサステナブル・ツーリズムがあると思います。</p> <p>日本政府観光局は、UNWTO におけるサステナブル・ツーリズムの推進や、旅行者のサステナビリティに対する意識の高まりを受け、本年6月、「SDGs への貢献と持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の推進に係る取り組み方針」を策定されました。</p> <p>今後山口県としての取組も必須となる視点であると思いますが、計画案には記述</p>	<p>いただいたご意見は、今後の計画策定や具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>

	<p>がありません。</p> <p>検討及び計画への記載を希望いたします。</p>	
6	<p>ワーケーションもトレンドの一つですが、ワーケーションの誘客で重要なのはワーケーションの特性に適した宿泊場所の提供であると考えています。</p> <p>この点に関する検討及び計画への記載を希望いたします。</p>	<p>宿泊事業者が行う「新しい生活様式」への対応や、高付加価値化・収益力向上を図る取組等を支援することとしており、このような支援策等を通じてワーケーションに適した施設整備等を進めていきたいと考えています。</p>
7	<p>現在、やまぐちDMOの動きが見えてこない中、P23の「●やまぐちDMOを核とした魅力ある観光地域づくりの推進」の内容が、観光庁の公式ウェブサイトに掲載されている「観光地域づくり法人(DMO)とは？」の説明の概ねコピペになっています。</p> <p>当計画へは、やまぐちDMO独自の取組方針を記載するべきかと思えます。</p>	<p>前計画(おいでませ山口観光振興計画)の総括及び、令和2年4月に改正・公表された「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」を踏まえ、山口県として、やまぐちDMOが地域連携DMOの役割を担うために最優先で取り組むべきと考えたものを記載しています。</p> <p>やまぐちDMO独自の取組方針は、やまぐちDMOが自ら策定する計画において記載すべきものと考えます。</p>
8	<p>最初に引用されている観光庁の「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン(概要)」の(5)で提案されている「小規模分散型パッケージツアー」は、コロナ対策の側面だけでなく、二次交通の不足という山口県における大きな課題の解決に資する方法としても効果的であると思われま</p> <p>す。</p> <p>この点に関する検討及び計画への記載を希望いたします。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
9	<p>コロナによる観光需要の急激な落ち込みと、今年4月以降の急激な回復を経験した米国では、離れていった観光人材の確保が大きな課題となっていると聞きます。また、計画案にも記載されているように今後求められる旅行は、さらに従来のものから変化していくと考えられます。</p> <p>こうした中、観光人材の確保と人材育成は、山口県の観光振興においても大きな課題の一つであると思われま</p> <p>すが、検討及び</p>	<p>いただいたご意見は、今後の計画策定や具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>

	計画への記載を希望いたします。	
10	<p>P27 に掲げられている数値目標が人数のみとなっています。計画案にもあるとおり、団体から個人へ、体験型へ、宿泊施設の収益力向上へといった流れは、いずれも量より質を重視する方向への転換といえると考えます。それは、具体的には人数よりむしろ旅行単価を上げることをめざすものであると思われるため、数値目標に金額がないことを疑問に感じます。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、県政運営の指針である「やまぐち維新プラン」の観光分野に関する個別計画（分野別計画）と位置付け、「やまぐち維新プラン」で掲げた数値目標を、本プランの数値目標としました。</p> <p>なお、いただいたご意見は、今後の計画策定の際に参考とさせていただきます。</p>
11	<p>「3数値目標」を表記しておられますが、直近推移を同列表記していない「数値目標」に意味はありません。</p> <p>過去推移と目標値を当プラン（案）に図示/グラフ表記が必須と考えます。</p> <p>そうでなければ当該目標値がどの程度のものか、数値が適切かどうか等判断できません。</p> <p>（「実績は資料p〇に」などと言うのは説明資料として不適切と考えます。）</p> <p>上記当プラン（案）明示/資料修正の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、28ページに表形式にまとめたものを追加しました。</p> <p>なお、本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、県政運営の指針である「やまぐち維新プラン」の観光分野に関する個別計画（分野別計画）と位置付け、「やまぐち維新プラン」で掲げた数値目標を、本プランの数値目標としました。</p> <p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再度の意見募集は予定しておりません。</p>
12	<p>「4進行管理」</p> <p>「計画に掲げる施策の着実な実行を図るため、進捗状況や数値目標の達成度については「山口県観光審議会」に報告するとともに、成果重視の観点から検証を行い、施策の改善、見直しにつなげていきます。」とのことですが、主語/当プラン（案）推進主体が不明な上に、改善-見直しをどの程度の期間でどの様に進めるのか全く不明であり行政の「プラン（案）」としての体を生していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語/当プラン（案）推進主体 ・検証実施頻度 ・改善・見直しの方法、県民への広報方法の当プラン（案）への明示が必須と考えます。 	<p>ご意見を踏まえ、本プラン（山口県観光V字回復プラン）の推進主体が「山口県」であることを明確にするため、1ページ（第1章 1 策定趣旨）の下から7行目の冒頭部分と19ページ（第3章 1 基本的な方向）の上から7行目の冒頭部分に、「山口県では、」を追加し、検証実施頻度や改善・見直しの方法等について、27ページ（第3章 4 進行管理）へ記載を追加しました。</p> <p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再度の意見募集は予定しておりません。</p>

	<p>そうでなければ当プラン（案）の正誤が判断できません。</p> <p>上記当プラン（案）明示の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	
13	<p>プラン（案）拝見しますに、殆ど「感染症対策」と「一般的対応」の記述に終始し、「海外他遠方からの来山見込み不確実な中での観光者」についての具体的/的を絞っての施策が見受けられないと感じます。</p> <p>現状を考えるに、まず</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民県内観光 ・ 近隣県からの来県 <p>を軸にすべきと考えますが如何なものでしょうか。</p> <p>上記内容にてプラン（案）再検討あるいは別途早急に施策作成御願ひ致します。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けて、特に重点化・加速化すべき取組を定め、今後の県観光施策の進め方を示す方針と位置付けています。</p> <p>このため、個別の施策についてはその方向性や概要の記載にとどめています。</p> <p>なお、21 ページの「宿泊を軸にした観光需要の喚起」について、具体的な県民の県内観光及び近隣県からの来県に係る施策として、「旅々やまぐち県民割」や「プレミアム宿泊券・フェリー券」などに取り組んでいるところです。</p>
14	<p>「山口県観光V字回復プラン」と銘打ち期間を 2 年間と短期限定とするのであれば、特に広報等強化する県内観光地・県内行事を提示すべきと考えます。</p> <p>当該プラン（案）に明示、あるいは別途具体的施策早急に作成願ひします。</p> <p>当プラン（案）、前述しておりますが運営主体・運営/進捗状況確認時期・手法が不明です。</p> <p>このままでは、期間終了時点で「観光は回復しませんでした」で済まされ誰もどの部署も責任を追わない事になるのでは、と危惧致します。</p> <p>プラン（案）の運営主体・運営/進捗状況確認時期・手法を当プラン（案）内明示願ひします。</p> <p>上記当プラン（案）明示の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けた取り組みを前へ進めていくために策定するものです。一部地域や行事に限定して取り組むべきではないと考えます。</p> <p>ご意見を踏まえ、本プラン（山口県観光V字回復プラン）の推進主体が「山口県」であることを明確にするため、1 ページ(第 1 章 1 策定趣旨)の下から 7 行目の冒頭部分と 19 ページ (第 3 章 1 基本的な方向)の上から 7 行目の冒頭部分に、「山口県では、」を追加し、検証実施頻度や改善・見直しの方法等について、27 ページ (第 3 章 4 進行管理)へ記載を追加しました。</p> <p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再度の意見募集は予定して</p>

		おりません。
15	<p>当該計画は国の施策の影響を強く受けるものと感じますが、「国に対して意見する」という点の記述が乏しいと感じます。</p> <p>「県行政として、或いは県行政の参加する組織（例（あくまで例）：知事会）を通じて、場合によっては県民・県内団体からの意見聞き取り意見募集実施の上国施策に適宜意見する」、と言った内容を追加すべきと考えます。</p> <p>上記当プラン（案）明示の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けて、特に重点化・加速化すべき取組を定め、今後の県観光施策の進め方を示す方針と位置付けています。</p> <p>「国に対して意見する」ことは「特に重点化・加速化すべき取組」には該当しないと考えています。</p>
16	<p>当該案件、県内各自治体(市町)との連携が必要と思われませんが、個々の施策で数回ほど「市町と連携」との記述ありますものの具体的にどう「連携」していくのか不明確です（現状の枠内なのか、新たな組織なりを立ち上げるのか、どちらが主体となるのか、等々）。</p> <p>市町とどう「連携」していくのか明示願います。</p> <p>上記当プラン（案）明示の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けて、特に重点化・加速化すべき取組を定め、今後の県観光施策の進め方を示す方針と位置付けています。</p> <p>このため、個別の施策についてはその方向性や概要の記載にとどめています。</p>
17	<p>当該案件、中四国・九州各県等近隣県との連携が必要と思われませんが、「近隣県との連携」との記述ありますものの具体的にどの分野でどの様に「連携」していくのか不明確です（現状の枠内なのか、新たな組織なりを立ち上げるのか、企業主体とするのか行政主体とするのか、どこが主体となるのか、等々）。</p> <p>どう「連携」していくのか具体的に明示願います。</p> <p>当プランは概要のみ、であるなら速やかに別途具体的計画策定推進願います。</p> <p>上記当プラン（案）明示の上で再度県民意見募集すべきと考えます。</p>	<p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けて、特に重点化・加速化すべき取組を定め、今後の県観光施策の進め方を示す方針と位置付けています。</p> <p>このため、個別の施策についてはその方向性や概要の記載にとどめています。</p>
18	<p>個別に複数前述しておりますが、当該プラン（案）、記述内容に不備不足多々あると</p>	<p>いただいたご意見を参考にして、最終案に反映させています。</p>

<p>感じます。</p> <p>内容再検討の上、プラン（案）再作成再度意見募集実施すべきと考えます。</p> <p>当プランは概要のみ、であるなら速やかに別途具体的計画策定推進願います。</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再度の意見募集は予定しておりません。</p> <p>本プラン（山口県観光V字回復プラン）は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に置かれた本県観光の再生に向けて、特に重点化・加速化すべき取組を定め、今後の県観光施策の進め方を示す方針と位置付けています。</p> <p>このため、個別の施策についてはその方向性や概要の記載にとどめています。</p>
---	---

(2) 個別の取組に関すること

No	意見の内容 (要旨)	対応 (案)
1	<p>いずれやってくるだろう「生体認証でのお買い物」を先んじて導入し、山口県内のいずこかで登録し県内の加盟店で利用することでポイントがたまるとか割引が利用できる、つまり他の県よりお得にお買い物が出来ますよとアピールしてはどうでしょうか？加盟店側にも生体認証の参加で何らかの特典があると良いかも。未来の先取りと人の呼び込み・さらに県民の購買意欲促進、一石三鳥ではないかなと。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
2	<p>某銀行が顔認証での入出金を可能にするという発表がありました。</p> <p>そこで提案します。生体認証での支払いをどこよりも早く導入しませんか。早くにやって、ニュースになるように宣伝して、山口に注目を集めるのです。後手後手に回ると「あ、〇〇の真似だ」とか「遅い」とか言われてしまいますので、それは望むところではないでしょう。ご検討を。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
3	<p>人が少ないのなら今の内に古くなった施設を徹底的に新しくし、「新しい山口」をPRする。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>
4	<p>「山口には遊ぶところがない」ですので、資金がかかるのはわかるのですが何かしら造る必要があるのではないのでしょうか？</p> <p>大きなものを一つでもいいし、それがムリなら小さな施設を山口のあちこちに造る、そうする事で県全体に観光客を呼び込めるかと（こちらの方がいいか？）</p> <p>ショッピング、アミューズメント、スポーツ、プラネタリウム、等々。</p> <p>しかし、以前知事はこういった「新しいものを造る気は？」の質問に答えなかったのをテレビで観た覚えがあります。どうして知事は消極的なのでしょう？</p> <p>知事が一番やる気を見せなければならな</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>

	<p>いと思うのですが・・・。</p> <p>山口を引っぱって行っていただけるのを期待しています。</p>	
5	<p>P24に記載されている重点5市場に配置する観光プロモーターについて、委託仕様書では中国の配置場所は上海とされています。上海はもちろん重要な市場ですが、日本国内の多くの自治体もターゲットとしています。一方、山口県の友好都市である山東省は、ご存知のとおり中国第2位1億人以上の人口を有し、山口県以外の日本の友好都市は和歌山県のみです。長く深いつながりのあるこの巨大市場で山口県の優位性を発揮し、積極的にターゲットとすることは、今後の山口県のインバウンドの発展に効果的であると考えます。検討をお願いします。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>
6	<p>県観光スポーツ文化政策課の「令和2年 山口県の宿泊者及び観光客の動向」によると平成26年と令和2年度の観光客の推移状況を見た場合、落ち込み率は県全体では約71%であるが、県東部は約61%と特に落ち込みが激しく、その中でも特に光市が約54%と著しく落ち込みが激しい。</p> <p>以上のことから、県央部や県西部のキラコンテンツの多い地区で「ゆめ花博」等を開催するのではなく、キラコンテンツが少なく、最もテコ入れが必要な県東部へキラコンテンツやイベントの造成・誘致等に向け、県東部の市町へ県が積極的に関与する必要がある。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>
7	<p>観光推進について、市町任せ、観光協会任せにならないよう、各市町の観光関係部課と当該観光協会のあるべき姿について例示するとともに、県からの好事例な取組をしている観光協会の紹介や、アドバイスを積極的に市町に行う。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>
8	<p>好事例な取組の例を他市に紹介する。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討</p>

	<p>例：下松市は笠戸島ハイツが閉鎖されたが、笠戸島全体のキラーコンテンツ化に向け、映画作製・放映や環境整備を行う等、多彩な取組を行い観光客数を大きく伸ばしている。</p>	<p>の際に参考とさせていただきます</p>
9	<p>官民一体となった回復に向けての取組を行うため、現在、既に購入型クラウドファンディング「頑張るお店応援プロジェクト」について、県も報道発表等して支援しているが、更なる観光支援に特化したクラウドファンディングを構築し、観光回復の迅速化を図る。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます</p>
10	<p>やまぐちプレミアム宿泊券について、次のように対象や販売窓口を県内等に修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊券は発行せず、山口県民の宿泊者だけ対象に宿泊時に一律 2000 円クーポンを渡す（既に下関市、山口市等で独自に実施中） ・券を発行するなら、利用対象者は県民だけとし、販売窓口も県内のコンビニだけとする（新型コロナが他県から持ち込まれないようにするため） 	<p>発行済みの「やまぐちプレミアム宿泊券」の利用対象者や販売窓口を変更することはできませんが、いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
11	<p>やまぐちプレミアム宿泊券の施策自体は良いと思うが、宿泊施設で処理するスキーム（データ入力処理等のとりまとめ・発送業務）について、宿泊事業者の業務の負担にならないよう簡素化する。</p>	<p>実施中の個別事業における事務手続きに関するご意見については、当該事業の事務局へお申し出ください。</p>
12	<p>近畿圏の若い層では山口の観光イメージとして「角島」・「錦帯橋」くらいしかない。「野外フェス」・「大花火大会」等のその地が有名になるようなイベント開催ができれば、開催市の知名度UPに繋がる。 （近畿圏からの転入者の意見）</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
13	<p>サイクル県やまぐちの取組として、冠山総合公園オートキャンプ場を拠点に、サイクリングロードとして田布施までの海岸線の整備と室積峨眉山散策用の歩道整備等を行う。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>

14	<p>宿泊・日帰りの誘致として、東京・大阪をはじめ、近隣県の旅行会社を中心に訪問し、旅行プランに県内各地の名所・観光施設を入れていただくよう勧奨する。</p> <p>できれば、観光客誘致の弱い東部地区を厚めにPRするために、県職員単独の訪問活用ではなく、必要に応じ市職員、観光事業者等の民間業者との同行訪問を行う。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
15	<p>現在、コロナの影響により、観光・飲食業は大打撃を受けている中で、ワクチン接種については、知事の陣頭指揮により接種率は全国でも上位となっている。</p> <p>については、観光・飲食業について、現在、様々な規制を行っているが、ワクチンを接種した人は、観光・飲食業の規制を緩和するとともに、2日以内のPCR検査で陰性証明がある人も規制緩和の対象に加えるなどし、陰性の人で観光等の経済を回すようにする。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
16	<p>「山口県観光V字回復プラン」と銘打つのであれば、コロナ後の1年～2年の期間の中で切れ目のないキャンペーンを実施し県内外からの集客を行う。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>
17	<p>山口県は明治維新や日本近代で足跡を残した人の輩出地であり、極めて特徴のある県であるにもかかわらず、それを十分に生かせない現実、例えば観光なども含めて、非常に弱いという印象です。</p> <p>山口県側から岸さんの評伝を書くことで、生誕地の整備や、郷土館の岸さん関係の資料の文化財化、また8人の総理大臣を学べる展示施設の建設など、山口県ならではの観光事業の開発や、コンテンツの開発を今後進めていっては如何かと思うのです。</p> <p>また国会図書館の憲政資料室にある資料のデジタル化も共同で行い、山口県関係の先覚者たちの資料も、山口県側で閲覧できるようにするなど、電子博物館の併設など</p>	<p>いただいたご意見は、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>

もこうした活動と並行して行えばよいのです。

「V字回復」という即効性に目を奪われて東京のイベント会社に外注するなど、今流行の表層的なものばかりで企画を進めるより、地道な回復を目指して、地元の力を結集して最終的に魅力ある山口県に再生する努力こそが必要と考えます。

山口県はそれが出来る素材を持つ県でもあります。

こうした在野からの活字文化による文化振興、観光振興を下支えするために、県庁所在地に大型書店(ジュンク堂や紀伊国屋、丸善など)を誘致し、山口県関係の本をだれでも買えるようにする。

あるいは山口県が山口県関係の本を買うための図書券なども、文化振興の施策のひとつとして県民に配布するやりかたもあるでしょう。

とにかく文化的な面から、結果として山口県民や山口県出身者たちに誇りを持ってもらう。そして面白がってもらうのです。

すなわち活字文化を通じて、文化的なブランド化を強化することで、山口県の特質を強くアピールし、「気になる県」にして、山口県に行ってみようか、住んでみようかと、多くの人に思わせることが、結局、最終的に「V字回復」を用意するものと考えられるわけです。

むろん、こうした情報発信はインターネット其の他を駆使します。

重要なのは日本近代史や満洲など東アジアの近代史まで実感できるような、特質のある、個性のある、他に真似が出来ない新たな観光事業を推進すべきことです。

8人の総理大臣展で終わるのではなく、こうした先覚者の功績の「バイアスを外した」事実を元にした再評価を行い、そこから新たな観光資源を開発することが必要で

<p>す。</p> <p>そういう意味で、岸信介の評伝執筆も、もちろんこうした流れに連動させたいと思うのです。</p> <p>きっと「山口県観光V字回復プラン」のひとつの柱になると思います。</p>	
---	--

(3) 表記に関すること

No	意見の内容 (要旨)	対応 (案)
1	<p>当計画 (案) のP 2 0に、「●ホストタウン・事前キャンプ地における・・・」との記載がありますが、当計画が策定される時期には、既に東京オリ・パラは終了している頃と考えられることから、「スポーツ競技等の国際大会における・・・」というような見出しが適当ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、表記を改めました。</p>
2	<p>当計画 (案) のP 2 0及びP 2 1に、「●中小企業のリスタート支援」との記載がありますが、個人経営の観光関連事業者等もおられることから、「中小企業等のリスタート支援」とすべきではないでしょうか</p>	<p>ご意見を踏まえ、表記を改めました。</p>
3	<p>P 2 1下段の「●疲弊した観光産業の回復に向けた観光需要の喚起」中の、「安心安全」と、P 2 3上段の「●コロナの時代における効果的な観光プロモーションの展開」中の「安心安全」については、P 1 9の2段落中の「安心・安全」や、P 2 0の見出しのアの「安心・安全」な旅行を・・・」の表記と合わせるべきではないでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、表記を改めました。</p>
4	<p>文中年月表記が元号表記、元号 (西暦) 表記が混在し時系列把握が困難な場合があります。西暦表記又は元号西暦併記に統一を御願ひ致します。</p> <p>パブリック・コメント/県民意見募集の案については、年月表記を西暦表記又は元号西暦併記に統一する様県行政対応を御願ひ致します。</p> <p>前述「意見募集の案は西暦表記又は元号西暦併記に統一」については県民意見募集の度に意見通知しております。</p> <p>今回の当意見募集で一部元号のみの記述となっております理由を明示願ひます。</p>	<p>文書中、年又は年度を多用した箇所があり、全てについて和歴・西暦を併記すると、可読性が著しく低下しました。</p> <p>このため、原則として、各ページで2回目以降となる同一年 (又は同一年度) は和歴のみの表記としました。</p> <p>なお、出典元の表記をそのまま使用した箇所など、例外もあります。</p>

	<p>(県民意見の内容が県行政内で共有されていない、と感じます。)</p> <p>(意見募集に対して、継続的に意見している「記述方法等についての意見」に対応していない、と言う事は、当該意見募集についても「意見は受けるが対応はしない」と言っている様に感じます。)</p>	
5	<p>意見募集資料内図表への通し番号付記は有り難いです。</p> <p>図表表題、一部「国」「県」いずれなのか分かりにくいものがありました表題修正頂けましたなら幸いです。</p>	<p>ご意見を踏まえ、8ページの図表11について、出展を追記しました。</p>

(4) パブリック・コメントの実施に関すること

No	意見の内容 (要旨)	対応 (案)
1	<p>当件、本文 27 頁と資料「おいでませ山口観光振興条例」と《用語解説》となっておりますが、本来関係する国・県の法令計画他も参照して意見すべきものと考えます。</p> <p>又、同時期に県だけで計 5 件の意見募集が実施されておりました。</p> <p>その様な中意見募集期間が通常通り 1 ヶ月と言うのは時間が不足していると感じます。</p> <p>意見募集期間延長すべきと考えます。</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。</p> <p>意見募集の時期・期間については、各々の計画等作成過程の中で決定しており、期間延長等の予定はありません。</p>
2	<p>県行政では、1 企業の申請に対して、内規に定める期間を超過して「資料不足」「時間不足」を理由に「資料再提出」を指示し、数年単位の長期検討を実施した例がある、と記憶しております。</p> <p>「県民＝主権者」からの「記述不足・期間不足による意見募集の期間延長/再実施」の要請を断るのであれば、その理由を明示願います。</p> <p>(「県の条例に則って(1 ヶ月)実施している」と言うのは、上記の通り内規に定める期間を大幅に超過して対応している事例がありますので返答に値しないと考えます。)</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。</p> <p>意見募集の時期・期間については、各々の計画等作成過程の中で決定しており、期間延長等の予定はありません。</p>
3	<p>「意見募集資料内図表への通し番号設定」は県の意見募集の際常時提示しております。</p> <p>今後のパブリック・コメント/県民意見募集も同様の御対応を宜しく御願ひ致します。</p>	<p>いただいたご意見については、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際のどの程度あったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断する為にも、「県のホームページ＝県行政に関心又は用事の在る県民が参照する媒体」では無く、一般県民が広く目にする新聞にどう広告掲載した/記</p>	<p>新聞への広告掲載は、令和 3 年 8 月 12 日の山口新聞及び中国新聞での突出広告を行いました。</p>

	<p>事掲載されたのか、『具体的(媒体、掲載日、大きさ)』に提示願います(記事の場合は把握している範囲内で御願致します)。</p>	
5	<p>今回の案件を含め、県広報誌や「山口県からのお知らせ」に個々のパブリック・コメント/県民意見募集についてや、パブリック・コメント/県民意見募集全般に関する記事が殆どまたは一部しか掲載されていない理由を明示願います。</p> <p>(パブリック・コメントの広告を小さく掲載するよりも、紙面を広く取る「山口県からのお知らせ」の項目の1つとする方が明らかに県民の目に留まると思われます。</p> <p>「個別の(小さい)広告を新聞に掲載した」と言うのは、「県民により広報の効果のあるだろう所に記事を掲載していない理由」にならないと考えます。)</p>	<p>県広報誌は年4回の発行となっており、原稿を入稿する時期との兼ね合いから、主に速報性のある県ホームページや新聞広告等を活用した広報に努めています。</p> <p>限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>
6	<p>前述各意見に対する御返答と、意見送付県民数・意見数より、今回の当該パブリック・コメント/県民意見募集についての広報が十分になされたかどうか、御判断御明示願います。</p> <p>(「意見募集の結果(人数・件数)の明示」ではなく、「広報の十分・不十分の御判断」を御明示願います。)</p>	<p>6人の方から、54件の意見が提出されており、十分な広報がなされたと判断しています。</p>
7	<p>パブリック・コメント/県民意見募集の期間が1か月なのに対して、県広報紙発行が2-3か月間隔と言うのは、県の広報手段として不適切な発行期間と感じます。</p> <p>県広報紙発行頻度の見直しを実施願います。</p>	<p>県広報誌は年4回の発行となっており、原稿を入稿する時期との兼ね合いから、主に速報性のある県ホームページや新聞広告等を活用した広報に努めています。</p> <p>限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>

(5) その他

No	意見の内容 (要旨)	対応 (案)
1	<p>当意見募集の締め切りが8月末までとなっているということは、策定は早くとも9月になるかと思えます。</p> <p>そうすると、令和3年度はもちろん、令和4年度の当初予算に間に合うかどうか微妙だと思えます。この計画を具体的にどう県の施策として落とし込んでいかれるのか疑問です。</p>	<p>令和3年度の6月補正予算を踏まえた「山口県観光V字回復プラン(案)」でパブリック・コメント(県民意見の募集)を実施し、また、令和4年度当初予算の編成が始まる前に策定しました。</p>
2	<p>P26「新幹線の利便性の向上」</p> <p>…新幹線利便性以前に、県内観光のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR各駅のバリアフリー化と利便性向上(トイレ改修等) ・強雨の度に運休となる在来線の災害対策強化 <p>を早急に実施御願います。</p>	<p>JR各駅のバリアフリー化や利便性向上、災害対策の強化等については、これまでもJRに対して要望しているところです。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、今後も引き続き要望してまいります。</p>
3	<p>P32以降の《用語解説》掲載は有り難いです。</p> <p>出来ましたら、本文中に「資料末に語句説明がある」旨分かる様な資料にして頂けましたなら幸いです。</p>	<p>ご意見を踏まえ、目次の最下段に「※」の説明を追記し、解説語句に「※」を付しました。</p>
4	<p>用語解説に掲載している語句の精査を願う。</p>	<p>いただいたご意見については、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>当件の内容は地域性専門性の高いものとなっていると考えます。</p> <p>県民からの意見募集の他に、住民・関係者・専門家・各自治体からの直接の意見聞き取り等の実施を御願ひ致します。</p> <p>(案作成時に実施済とは思いますが一応。)</p>	<p>学識経験者や観光関係団体役員、観光に理解と関心のある青年、公募委員で構成する「山口県観光審議会」に対して、本プランの検討段階からご意見をうかがい、また、いただいたご意見を反映させ、「山口県観光V字回復プラン(案)」としてパブリック・コメント(県民意見の募集)を行いました。</p>
6	<p>修学旅行の入湯税の扱いが市町によって違っているため統一する必要がある。</p> <p>例えば、東部地区については、中学生、高校生の修学旅行の入湯税を徴収している一方、中部、西部地区については、入湯税を徴収していないことが多く、同じ県内で</p>	<p>法律上、市町村税とされている入湯税の課税や免除に関して、県が指導することはできません。</p>

	<p>対応が違うことから金額面の格差が生じており、特に、観光の弱い東部地域の方が入湯税を徴収するため、価格競争で苦しい状況にある。</p> <p>また、修学旅行の入湯税については、全国的に免除という自治体が多いことから、県内を修学旅行先とする場合、免除とするよう市町を指導願いたい。</p>	
7	<p>タイトルは「～V字回復」とうたっているが、現在、新型コロナ第5波の真っ最中で（県補記：意見提出 令和3年8月27日）、未曾有の危機的状況であり、令和4年度中にV字回復は極めて困難な状況と予想されることからタイトルの中の「V字」部分を外し、山口県観光回復プランとする。</p>	<p>いただいたご意見は参考とさせていただきますが、原案のとおりとします。</p>